

鶴巻小便り

令和6年度 No.17 令和7年 2月 26日



学校経営方針・理念 鶴巻小3S

「笑顔 (Smile) ・安全安心 (Safety) ・着実 (Steadily)」

バトンゾーンとしての学年末



プール脇の河津桜のつぼみがほころび、間もなく開花しそうです。令和6年度も残すところ一カ月となりました。学校において、学年末はどのような位置づけかという、私はリレーの「バトンゾーン」のようなものだと思っています。

6年生は進学に向けての準備とともに、学校の顔として、これまで担ってきたものを下級生に伝えます。下級生、特に5年生はそれを受け取り、次年度への飛躍のために助走を始める時期なのです。

2月28日(金)に開催する「6年生を送る会」は、準備を含めて、バトンパスのための行事だと考えています。鶴巻小の子供たちが、どのようにバトンの受け渡しをするかを是非ご覧ください。

Topics 1

鶴巻小の良さを歌に



1月29日(水)に東京フィルハーモニー交響楽団が来校し巡回公演を行ったことは、HPにてお知らせした通りです。

その中で、フィンランディア(フィンランドの作曲家ジャン・スベリウスによる交響曲)のメロディーに合わせて、5年生が作詞した歌を全校で合唱しました(伴奏は東京フィルです)。

このために、5年生は鶴巻小の良さや特徴を話し合い、来年度、最高学年になる準備のためにという気概をもって歌詞をつくってくれました。とても素敵な歌詞なので紹介します。

緑や自然がいっぱい 逢坂から海が見え 三階からは富士山や旭がよく見えるよ
鶴巻のみんなは仲良しで 助け合いができて 協力できる 元気で明るい鶴巻っ子
みんな笑顔がたくさん 休み時間には外に出て 仲良く遊んでいるよ
楽しいことがたくさんある そんな鶴巻が すごく好きさ 鶴巻 鶴巻 大好き

Topics 2

文化の担い手として

希望者が冬休み中に作成し出品した、県書き初め展覧会の結果が返ってきました。

書道は中国から伝わり、「止め」や「はね」といった柔らかさが加わって、今のスタイルになったそうです。パソコン等の普及により、文字を書く機会が減っていますが、書道によって日本の文化や日本人らしさに触れることが、その魅力なのではないでしょうか。

「書星会賞」を受賞した児童を紹介します。

さん(6年)

さん(5年)

さん(4年)

さん(3年)

さん(2年)